資料R8-5

主な下水道用語の解説

用語	読み方	解説
維持管理費	イジカンリヒ	事業の管理運営に要する経費で資本費に対する用語。「人件費」（職員の給与費等）及び「物件費」（管渠の清掃費、電気代等の動力費、薬品費、施設の補修費、委託費等）の合計額をいう。
汚水	オスイ	それぞれの家庭で使った後の汚れた水。水洗トイレからのし尿、工場や事業所から出される排水。
汚泥	オデイ	下水処理のよって発生する泥状の物質のこと。
汚水処理原価	オスイショリゲンカ	有収水量1㎥当たりの汚水処理費。 低いほど1㎥当たりの処理費が安いため効率的といえる。 汚水処理原価(円/㎥)＝ 汚水処理費 / 年間有収水量
汚水処理施設	オスイショリシセツ	下水道施設や農業集落排水施設、浄化槽などの家庭や事業所などから出る汚水を処理する施設の総称。
汚水処理人口	オスイショリジンコウ	まちに住んでいる人のうち、下水道、浄化槽などの汚水処理施設が整備された区域に住んでいる人口。
合併処理浄化槽	ガッペイショリジョウカソウ	し尿と台所、風呂、洗濯、洗面所などの生活雑排水を合わせた生活排水を処理する浄化槽。
管渠	カンキョ	下水道管のこと。汚水管、雨水管、合流管がある。
基本水量	キホンスイリョウ	日常生活の上で想定される公衆衛生向上の観点から必要な汚水排出量。米子市の場合は1か月当たり8㎥である。
基本料金	キホンリョウキン	汚水排出量に関係なく必要となる経費に対するもので、米子市の場合、基本水量0～8㎥/1か月に対して1,270円（税別）としている。
供用開始	キョウヨウカイシ	下水道管が布設され、公共ますへ排水設備を接続することにより下水道が利用可能となること。
下水	ゲスイ	生活若しくは事業に起因し又は付随する排水（汚水）及び雨水。
下水道	ゲスイドウ	下水を排除するために設置された管渠、その他処理施設やポンプ施設の総称。（広義の下水道）
公共下水道	コウキョウゲスイドウ	市街地の雨水を速やかに排除し、また汚水を終末処理場で処理して河川に放流するもので、市町村が事業主体となって行う最も一般的な下水道。
公共ます	コウキョウマス	各宅地内から出た汚水を受け、公共下水道に流すための設備。
高度処理	コウドショリ	終末処理場において通常行われる処理よりも高度な水質が得られる処理。通常の除去対象水質（BOD、SS）の向上を目的とするものと、十分除去できない物質（窒素、リン）の除去率向上を目的とするもの。
合流式下水道	ゴウリュウシキゲスイドウ	汚水、雨水を分離することなく同一の管渠で排除する方式で、古くから下水道事業を行っている地域で採用されている。（米子市では内浜処理区の一部）
事業計画区域	ジギョウケイカククイキ	下水道を行う場合に、あらかじめ整備する区域を定めて、下水道法第4条に基づき、国土交通大臣又は知事に協議した区域。
し尿	シニョウ	トイレから出る排水のこと。

用語	読み方	解説
資本費	シホンヒ	下水道を建設する際に借り入れた、地方債元利償還金及び地方債取扱諸費の合計額のこと。
資本費算入率	シホンヒサンニュウリツ	汚水処理のうち資本費に要した費用が使用料によって回収される割合のこと。
資本費平準化債	シホンヒヘイジュンカサイ	下水道整備は先行投資が多額にも関わらず、供用開始当初は利用者も少なく過大な使用料負担を求めることになり世代間の公平に反することから、下水道事業債の償還財源として資本費平準化債を活用することにより後年度に負担を繰延べすることができるもの。
終末処理場	シュウマツショリジョウ	下水を最終的に処理して、河川や公共の水域又は海域に放流するために、下水道の施設として設けられる処理施設とこれを補完する施設。
従量料金	ジュウリョウリョウキン	汚水排出量に応じて増減する使用料で、汚水排出量に応じて変動する経費などをまかなうもの。米子市は、排出量が増えるほど単価が高くなる逓増方式(ていぞうほうしき)である。
受益者負担金	ジュエキシャフタンキン	下水道が整備されることにより、利益を受ける人が建設費の一部として負担するもの。処理区域内の土地に対して賦課されるもので、一度限りのもの。米子市は、現在1㎡当たり480円である。(淀江は除く)
需要家費	ジュヨウカヒ	下水道使用水量の多寡にかかわりなく主として下水道使用者数に対応して増減する経費であり、使用料徴収関係経費等のこと。
使用料単価	シヨウリョウタンカ	使用料対象水量1㎥当たりの使用料収入額。 高いほど料金水準が高い。 使用料単価(円/㎥) $\frac{\text{使用料収入}}{\text{年間有収水量}}$
使用料回収率 (経費回収率)	シヨウリョウカイシュウリツ (ケイヒカイシュウリツ)	使用料で汚水処理費を回収している割合。経費回収率ともいう。 高いほど経営健全である。 使用料回収率(%) $\frac{\text{使用料収入}}{\text{汚水処理費}} \times 100$
処理区域	ショリクイキ	排水区域のうち排除された下水を終末処理場により処理することができる地域で、公示された区域のこと。
処理区域内人口	ショリクイキナイジンコウ	供用開始後公示済区域内の人口のこと。
水洗化人口	スイセンカジンコウ	処理区域内人口のうち、水洗便所を設置して汚水を処理している(水洗化を完了している)人口。
水洗化率	スイセンカリツ	処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水を処理している人口の割合。 水洗化率(%) $\frac{\text{水洗化人口}}{\text{処理区域内人口}} \times 100$
生活雑排水	セイカツザッパイスイ	生活排水のうち、し尿以外のもの。
生活排水	セイカツハイスイ	一般家庭から出るし尿、炊事、洗濯、入浴等の排水。
農業集落排水施設	ノウギョウシュウラクハイスイシセツ	農業用水の水質保全及び農村生活環境の改善を図るため、汚水を排除し、又は処理するために市が設置し、及び管理する配水管、排水渠、汚水処理施設等のこと。
排除汚水量	ハイジョオスイリョウ	下水道に流した汚水の量のことで、使用料算定の基礎数値となるもの。上水道の使用量を排除汚水量としている。 井戸水などを使用している場合は、計量装置の数値か、揚水機の規模や世帯人員などにより、水量を認定している。

用語	読み方	解説
排水設備	ハイスイセツビ	一般家庭や工場から下水を下水道に流入させるために必要な排水管等の施設。
BOD	ビーオーディー	Biochemical Oxygen Demand：生物化学的酸素要求量 水質の汚濁状態を表す指標の一つ。有機物を生物化学的に分解するのに必要な酸素量で、数値が大きいほど汚濁していることを示す。
普及率	フキュウリツ	下水道を利用できる人口の割合。 下水道普及率（%）　$\frac{\text{処理区域内人口}}{\text{行政区域内人口}} \times 100$
不明水	フメイスイ	汚水管に何らかの理由で、流れ込んできた雨水や地下水等で、処理水量から有収水量を除いた水量のこと。
分流式下水道	ブンリュウシキゲスイドウ	汚水と雨水を別々の管に集めて排除する方式。汚水だけを処理施設に入れることになり、雨水は側溝等で河川に流すことになる。
ポンプ場	ポンプジョウ	下水は処理場まで自然流下で行くのが原則だが、管渠が深くなりすぎたり、地形的に自然流下ができない場合等にポンプで水位を上げるために設ける施設。
有収水量	ユウシュウスイリョウ	下水道使用料によって収益がある汚水量のこと。
有収率	ユウシュウリツ	汚水のうち、使用料の対象となっている水量の割合。 有収率が高いほど使用料徴収の対象とならない不明水が少なく、施設の利用効率が高い。 有収率（%）　$\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間汚水量}} \times 100$
類型団体	ルイケイダンタイ	総務省の下水道事業経営指標より、下水道事業を運営する全国の団体を、規模別、地理的条件別、事業進捗度別に、分類した同じグループの団体のこと。 【平成31年3月31日現在】 米子市の公共下水道事業は・・・ 処理区域内人口10万人以上（規模別分類） 有収水量密度2.5千㎥/ha以上5.0千㎥/ha未満（地理的条件別分類） 供用開始後25年以上（事業進捗度別分類） の類型団体（類型区分：Ac1）に分類されている。 米子市の農業集落排水事業は・・・ 有収水量密度2.5千㎥/ha未満（地理的条件別分類） 供用開始後15年以上25年未満（事業進捗度別分類） の類型団体（類型区分：d2）に分類されている。
累進度	ルイシンド	使用料体系中の最大従量単価を基本使用料単価で割ったもの。